



堀場製作所OB会

会報

通巻32号

発行日 平成24年9月20日

発行者 堀場製作所OB会

川越 幹

編集者 山本広太郎

◆第16期第2回定例幹事会

◆第16期東京支部定例会

◆クラブ活動報告

- ・山遊会
- ・釣りクラブ
- ・ビデオ・カメラクラブ

◆ボランティア部会

鴨川を美しくする会主催

- ・第38回「鴨川茶店」に参加
- ・第43回「鴨川納涼」に参加
- ・定例「鴨川クリーンハイク」に参加

◆キャリア活動

- ・K S V U活動状況
- ・京都モノづくり殿堂・モノづくり工房学習について

◆行事報告

- ・春の懇親会 (がんこ二条苑)
- ・夏の懇親会 (がんこ二条苑)
- ・レジャー例会 … びわ湖一周桜めぐり
- ・レジャー例会 … 妙心寺散策
- ・一泊旅行…三朝温泉・倉吉
- ・東京支部一泊懇親会

◆会員寄稿文

- ・山手線ぐるっと一週一人旅 海野 興一郎
- ・上手な褒め方・叱り方 梶並 強平
- ・SPレコードの思い出 周田 光男

◆会員への連絡

- ・OB会設立15周年記念誌作成プロジェクト
- ・新入会員紹介
- ・会員の訃報
- ・堀場OB会ホームページ紹介
- ・会報・ホームページへの寄稿要領について

◆ホリバ・ニュース・やぶにらみアラカルト

◆編集後記



鴨川納涼ボランティア

OB会ボランティア部会では、毎年京の夏の風物詩として四条鴨川の河川敷で行われる「鴨川納涼」という催しの警備ボランティアとして参加しています。場所は有名な床がある京都でも屈指の名所であり、地元の人及び観光客で大変賑わっています。主催者は50年近くの歴史を持つ「鴨川を美しくする会」で、その他鴨川クリーンハイク活動等にも参加しています。

定例幹事会

16期第3回定例幹事会

第16期第2回定例幹事会が平成24年4月27日(金)午後2時からOB会室にて、開催されました。

今回は、昨年の「堀場製作所OB会設立15周年記念式典」が会社の全面的な協力のもと、多数の会員の出席を得て成功裏に無事終了したことについての感謝と反省を行いました。

次に年間活動計画に基づく諸活動の進捗状況の確認と検討を行いました。特に一泊旅行は湯快倶楽部等の利用で大変格安でありながら満足度の高い行事となりました。

キャリア部会活動については、「京都モノづくり工房学習」を広報部からの移管を受けて以来、若手幹事により、pH・温度測定(2回)、世界の温度計づくり(3回)実施と活発な活動が推進出来ました。

ボランティア部会活動については、「鴨川を美しくする会」のクリーンハイクや、鴨川茶店に参加し、板についてきました。OB会独自の登録事業であり、今後とも継続するとともに、新規ボランティア事業も模索してゆくことになりました。

一方東京支部も活発に定例会や懇親会を行い、秋には分析展のサポートと、その時社長との懇親会を予定するなど充実した内容にすべく検討中です。尚、現在の会員数は14人となっています。

予算執行状況については、おもに15周年記念式典関係の支出が、特別事業として大きな部分を占めました。あと「OB会記念誌」の作成費の算定が残りしました。一方通常予算の進捗は円滑に推移していることが説明されました。

重要事項として、第17期からの新幹事体制については、かねてから検討中ですが、新幹部体制及び役割分担(案)を早急に固めることと、新規幹事の迎え入れを交渉することになりました。

また、設立15周年以降の新コンセプトに関して、新たな活動の考え方を検討してゆくことになりました。特に社会貢献の一環として、OB各会員のキャリアの活用を積極的に推進し、会社のイメージアップを進めてゆくことを軸として、活動してゆくこととなりました。

東京支部定例会

16期第3回定例会

東京支部は4月20日(金)13:00~14:10 TSO・2階プレミアムルームで第3回定例会を開催しました。最初に特別に出席いただいた、TSO大久保所長より現況説明として、昨年(2011年)の各部門別の業績と今年(2012年)上期の受注・売上状況と営業本部の組織体制等報告を頂きました。多くの活発な質問も頂きました。

次に海野副幹事より「堀場OB会一泊懇親会(ゴルフ付)最終版」に基づき、懇親会スケジュール、観光の長瀬ライン下り、川越の蔵造りの家並み通り資料館、食事処、諸経費及び交通ルート等詳細説明後、谷口幹事より「東京支部OB会2012年ゴルフコン

ペ」に基づき、詳細説明され、了承された。次に谷口幹事より4月の幹事会報告する予定でしたが延期のため次回定例会(7月20日)に報告となりました。また堀場OB会15周年記念誌を制作中です4月~5月に各会員に発行となる予定と報告された。谷口幹事より16期の9月に幹事の2年の任期切れとなります、東京支部の活性化のため交代したい、来期幹事の選任をお願いしたい申し出ましたが希望者が出ず、会員から海野副幹事を含め現幹事の延長希望が出たため、来期も谷口幹事、海野副幹事体制で運営することになった。今年も9月6日(木)に堀場社長との懇談会を開催する予定と報告して会議終了となった。会

議終了後、従来からのゆっくりくつろげる「そば処大新」へ移動し懇親会を行い、その後のいつもの喫茶

会では難しい話、定例会一泊旅行を忘れないように前日には電話が必要かなとかの話が続きました。

16期第4回定例会

東京支部は7月20日(金)13:00~14:00 TSO・4階402会議室で第4回定例会を開催した。東京は夏とは思えない涼し気で、半袖では寒い中、谷口幹事より、幹事会報告を行い、15周年記念誌の構成が一部変更になり発行が遅れている、会報も今回は一ヶ月ほど遅れて発送される予定、今しばらくお待ちください。9月6日の社長との懇談会、JASIS展(前分析展・科学機器展の合同展)見学(幕張メッセ)の参加者8名を確認した。次回の10月から17期に入るが、17期も谷口幹事、海野副幹事で延長して運営するこ

とを正式決定した。次に17期年間行事表に基づき、日程が了承された。最後に、来年5月31日~6月1日一泊懇親会(ゴルフ付)について、ホテルのパンフレットに基づき、場所は栃木県の鬼怒川温泉とし、観光は鬼怒川地区の日光江戸村、東武ワールドスクエア、日光の日光東照宮等はどうだろうか、例えば、ゴルフ不参加の方は前日も観光されては、との提案があり、海野副幹事の方でさらに調査検討の上、大枠の計画を取りまとめ、次回には説明することとした。夏の懇親会は東京からは欠席となった。

クラブ活動報告

山遊会

一第21回例会一

- ・実施日 : 平成24年4月28日(土)・快晴
- ・行先 : 湖南アルプス 太神山<たなかみやま>(599.7m)・矢筈ヶ岳(562m)・笹間ヶ岳(433m)
- ・参加者: 池田 俊明、萩原 孝一、下川 和子、丸山 博、森本 順孝、倉原 政治、橋口 純男、下川 博司

午前7時50分JR京都駅びわこ線ホームに集合。8時発新快速近江塩津行で石山駅へ。帝産湖南交通午前8時25分発のバスに乗り換え、終点のアルプス登山口で下車。準備体操の後9時丁度に出発した。天神川沿いの舗装道を上流へ、迎不動を過ぎ9時45分林道を右に反れる。ここから登山道となり不動橋を渡る。10時30分泣不動を拜し、程なくして矢筈ヶ岳分岐に。太神山へはここからピストンすることになる。11時2体の石像が立つ二尊門を通り不動寺に入る。境内には立派な桜の木が3本あり、例年より1週間おそくいままさに満開で出迎えてくれた。この桜を目当てに登ってくる登山者も多いとか。境内をすぎ急階段

を数十段上がり、舞台造りの本堂横を少し登ると三角点があった。11時15分記念撮影の後境内まで戻り、少し早いが桜のもとで昼食とする。

本堂は室町時代初期の建物で重要文化財に指定されている。12時15分出発、矢筈ヶ岳分岐まで戻り矢筈ヶ岳に向け稜線を歩く。13時10分頂上直下の出合峠に、高度差70mほどの急坂を10分で登山頂に到着。狭い山頂は木々に囲まれ展望は利かない。記念撮影を済ませ急坂を慎重に降り出合峠に戻る。

木漏れ日の稜線を陽光に映えるミツバツツジを愛



でながら歩み、14時30分富川道分岐をすぎ大谷河原手前の池で小休止。ここからにせピークをいくつも越えて15時35分笹間ガ岳に着いた。三角点横の巨岩の上から、瀬田川方面の景色を眼下に3度目の記念撮影をする。帰りのバスの時刻を気にしつつ16時

前山頂をあとに。16時30分大石分岐を経て16時50分ため池横の林道にでた。10分ほどで上関バス停に到着。自販機で渴いた喉を潤し、三座完登に満足して17時21分バスの人となった。18時過ぎ京都駅で解散し、長い一日を終了した。

—第22回例会—

・実施日：平成24年5月19日（土）・晴

・行先：キリシタン自然歩道・竜王山
(510m)

・参加者：池田 俊明、萩原 孝一、森本 順孝、
下川 博司、橋口 純男、中村 正博、
丸山 博、下川 和子

午前7時20分阪急河原町駅乗車ホームに集合。7時30分発快速急行梅田行で茨木市駅へ。阪急バス77系統山手台7丁目行き午前8時20分発のバスに乗り終点で下車。国道114号線を10分ほど北上して9時05分、石河駐在所横からキリシタン自然歩道に入る。妙見道の石鳥居を9時30分に通じ、9時55分千提寺のキリシタン遺物史料館へ。展示物を拝見、DVDの解説に感動し10時45分に辞す。コースを少しはずれ、通称クルス山の山裾にあるキリシタン遺跡発見のきっかけとなった墓碑跡に立ち寄り忍頂寺を目指す。11時35分忍頂寺で小休止。忍頂寺は1100年ほど前の創建とか、高山右近がキリシタン伝播のため寺院を焼き所領を没収したとある。ここから竜王山まで地道となり、かなりの急坂を一気に登る。山頂手前に宝池寺があり一息入れて12時15分山頂展望台に到着した。とりあえず木陰で昼食とする。食後木

造の立派な展望台に上がり、生駒山、大和葛城山、大阪市内の遠望を案内板と対比して眺め、三角点で恒例の記念撮影をすませ13時15分下山することにした。計画では穴仏・負嫁岩を巡るコースを予定していたが、分岐点を見つけられないまま東海自然歩道を降りる結果となった。途中、岩屋・清水廃寺を通り、14時10分頃眼下に車作集落を望み、14時17分発のバスが停車しているのが見える場所にでた。案内板によるとその昔この地域で良質のケヤキ材が産出され、天智天皇のころ御所車を献上したと伝えられ、車作の地名になったとか。14時40分車作バス停に到着。15時17分発のバスに乗り、終点阪急茨木市駅で下車。16時過ぎ阪急電車に乗り帰宅の途についた。



—第23回例会—

・実施日：平成24年6月15日（金）・曇

・行先：竜ヶ岳 (921m)

・参加者：下川 和子、下川 博司、中村 正博、
宇野 久二男、倉原 政治、橋口 純男、
森本 順孝

梅雨入り早々の晴間をぬって、今春3度目の例会山行を敢行、辰年に因んで再度竜の付く山を選んだ。午前7時40分京都駅前JRバス乗り場に集合。7

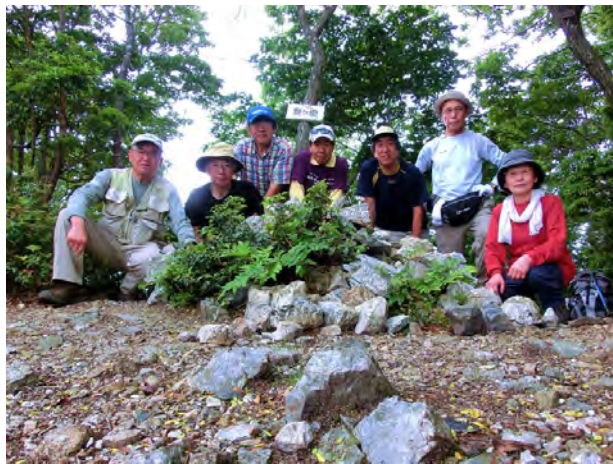
時50分発周山行に乗り愛宕道で下車。準備体操の後9時12分出発、田尻谷川沿いの林道に行く。30分ほどで道が二つに分かれる。左の道を取り10時5分田尻廃村を通過、小休止とする。更に進み再度道が分かれる。右手のカヤノキ峠に向かう。昨年の大雨か、その前の台風の影響か、左右から倒木が道を塞いでいる。一人一人通れるだけの隙間は確保されているが、谷を詰めるほどに道は荒れ、なくなった。11時カヤノキ峠の林道にでる。林道を西に向かい、竜の小

屋を目指す、標識もないままいく筋もの林道と出合う。このままでは首無地蔵に出てしまうと懸念していた矢先、11時40分首無地蔵に。竜の小屋へ降る途中、最近九輪草の群生地として、山仲間話題の芦見谷を遡上し、管理された何箇所かを確認して12時8分小屋に着いた。九輪草は最上部に僅かに花を残しているのがあるものの終りを告げていた。

一息入れて標高差270mの急勾配に挑こと40分、13時丁度に竜ヶ岳頂上に到着、遅い昼食にありついた。食後恒例の記念撮影をすませ13時30分出発、14時10分竜ヶ岳分岐にでた。今日の行程は地蔵山を通り越畑へ降りる予定であったが、ここから2時間30分は要すると推測、最終バスに乗り損ねる恐れがあることから、次善の策としていた清滝へ降りることにする。14時30分愛宕山三角点に立ち、市内を展望して月輪寺コースを辿る。15時30分月輪寺に着く。

小休止して16時25分梨ノ木谷林道に降り立った。

清滝バス停に行くとき後2分で出発するとのことで、17時11分発四条河原町行きに乗り散会した。予報では今夜から梅雨前線が北上して雨になるとか。山では終始爽やかな風があり、長丁場ながら快適な山行ができ、ラッキーな一日であった。



釣りクラブ

残暑の8月24日にイカの半夜釣りを、日本海は若狭湾舞鶴沖の冠島周辺で行った。今回世話になる船は、幸清丸で、中村さんが先代の船長からの付き合いのある西舞鶴を港とする船である。いつも利用している瑞祥は、先約があり予約出来なかった。参加者は、下川、丸山、池田、中村（正）の各氏と私のOB会員の5名と堀場釣りクラブの調子氏の6名で、船をチャーターする事が出来た。午前11時半に京都縦貫道の手前のコンビニに集合し、3台の車に分乗して、まずは餌を購入するために綾部の釣具店「高橋」を目指した。京都縦貫道の沓掛より瑞穂を高速で走り、27号線を北上し綾部の「高橋」で特上オキアミレンガ 1個（¥1,100）を各自が購入し、西舞鶴のミツマルで食糧等を購入し、14時ごろに港に到着した。天気予報では、晴れ、波0.5mであったが、途中の山間部で小雨が降ったが、海に近づくに従い晴天となり、気温も上昇した。

港では、すでに船長夫妻が、待ち受けており、あわただしく釣り座の抽選を行い14時15分

ごろ出港した。釣り座は、船尾に下川、調子の各氏が収まり、真中に池田、丸山の各氏が座り、船首に中村氏と私が収まった。午後3時ごろ冠島のかなり手前の漁礁に到着した。



水深約67mとの船長の指示で全員胴付仕掛けの重り60号で、餌はオキアミ、撒き餌もオキアミで釣り始めた。潮の流れは遅く、しかも餌取りが多く、最初の目的の鰹が釣れてこない。3箇所を釣り場を北に移動したが、鰹が単発にしか釣れなかった。

餌取り対策として、餌にするめイカの切り身

を付けたが、すぐにカワハギに取られ効果なし。6時ごろにエサ取りがいなくなると少し鯿も釣れ出した。丸山さんが、最初のポイントでアマダイの30cmを釣り上げ、その後、調子さんもアマダイの25cmを釣った。

真鯛は、丸山さんと中村さんが30cmを各1匹、下川さん、調子さんと中村さんが25cmを各1匹釣り上げた。日が落ちると最初に中村さんがイカを釣り上げ、イカ釣りに変更した。私は、昼間あまり釣れないので、小さな鯿を餌にして底の大物を狙ったが釣れず、別の竿でヒットした鯛を取り込み中に道糸に絡めて逃げられた。逃げた魚は大きい。イカ釣りも個人により取りこみ数に差があり、2匹～35匹と差が出た。又、大きさも胴長25cmから7cm位の差があった。今回はすべて、真イカ（剣先イカ）であった。平均取り

こみ数は、鯿5匹、イカ10匹で数が少なく、残念であった。

私は、鯿5匹（30cmから15cm）、イカ（胴長25cmから7cm）、ウマズラハギ1匹（26cm）であった。午後10時半に納竿し、11時40分ごろ帰港した。

帰りは、12時ごろ出発し高速「西舞鶴」から「和知」及び「瑞穂」から「沓掛」を経て、翌日の午前2時に帰宅した。今回の釣りは、天候に恵まれ、穏やかな波で、船酔する人もなく、良かったが、あまり数が釣れなかった。私の反省点、胴付仕掛け（5本針）で餌をイカとオキアミの両方を1つの針に付けたため、時間がかかり手返しが遅れたこと。イカ釣りでは、仕掛けの糸を操作しすぎて、糸を絡ましたこと、スツテを持つべきであった。

ビデオ・カメラクラブ

平成24年6月22日OB会の教養・レジャー例会時に併行してクラブ活動を行いました。

今回の行き先は、JR花園駅近くの名刹妙心寺でした。まず塔頭の東林院において、沙羅双樹のポトリと落ちる花の風情を鑑賞しました。人生の儂さについての和尚さんの熱心なお話を聞きながら、優雅に抹茶を頂き、味の方も楽しみました。多数の拝観客が来られているのも理解できました。その他東林院の入り口付近に、折からの雨で睡蓮の葉の上に大きな水玉模様が造

形美を創っていました。作品は紙面の都合で少しですが、ご覧下さい。

最近では、技術の進歩でフィルムからすっかりデジタルに変わり、誰でも失敗無く写真が撮れるようになりました。しかし仮にも作品作りとなると、ただ写すというだけでなく、何に感動し、何が言いたいかが大切で、技術の進歩では補えません。皆さんと共に研鑽してゆきたいものです。ご意見等を歓迎します。





ボランティア活動

鴨川を美しくする会主催 —第38回「鴨川茶店」に参加—

今年の鴨川茶店は、桜の開花が遅れていることもあって4月14日（土）、15日（日）の開催となりました。

初日は、前日より降り続く雨が8時になっても止みませんでしたが午後から晴れるとの天気予報を頼りに、予定通り開催されました。

雨は予報に違わず、10時過ぎまで降りつづきましたが、その後は空の雲も明るくなり、12時頃からは時おり青空が出て、お花見にちふさわしい状況になりました。

午後からは、多くの人出に恵まれ、また、二日目は、一層の好天と、人出になり、さらに賑わいを増して大盛況となりました。いずれの日

も、交通安全のボランティアは、大忙しでした。

今年も無事、役目を終えて、4時過ぎには、まだまだ絶えない、人の往来の賑やかさを後に、帰路につきました。



鴨川を美しくする会主催 —第43回「鴨川納涼」に参加—

恒例の「鴨川納涼」が8月4日（土）、5日（日）に開催され、堀場OB会から4名が参加しました。

本部で腕章/帽子/誘導灯/懐中電灯の4点セットを受け取って四条大橋を鴨川川原に下りた位置の南本部に移動し、会場南半分の安全確保と雑踏警備の作業開始。気温が高いいつもの夏だが、風が適度にあって未だ過ごし易い状態、それでも汗でシャツが背中に貼り付いている。

8月5日（日）の鴨川納涼は16時からとなっているが、それまでも来場者は結構多い。

屋台などに荷物を持ち込む車が川原から出るときに四条通りから会場に入る人の流れと南本部前で動線が重なり、注意が必要。6時頃からはガードマンが四条通りから会場への通路に立ってくれた。また、2名の警察官が会場内を巡回してくれた。16時を過ぎると、人の数が一気に増えました。会場中央の本部より南側は飲食の屋台が立ち並ぶ為、買い求める人の行列や立ち食いする人が多く、人の流れが停滞しがち。会場

を巡回しても人が多くて進めないことがしばしばです。

一方北エリアの様子を見に行くと、飲食の屋台は無く、啓発コーナーが中心。川原の幅も南側より広く、人の数もやや少ない感じで楽に歩ける。

これ以上人が増えると大変だと思っていた



が、20時頃から傘無しでも済む程度の雨が降り出し、人の数も少し減ってくれた。雨が止むと又人が増えるが、気温も気持ちだがり下がり、埃も減って丁度良かった。南エリアでの飲み物やわらび餅の販売は好調で21時頃に完売していました。屋台でも完売して閉店の店が出ていました。



鴨川を美しくする会主催

—第1回「鴨川クリーンハイク」に参加—

平成24年4月29日(日)堀場OB会ボランティア部会として取り組んでいる鴨川クリーンハイクに参加しました。

当日は抜けるような青空の元、午前10時に集合場所の五条大橋西詰の五条公園に他のグループ参加者と共に集合しました。

軍手、ゴミバサミ、ゴミ袋の3点セットを受け取った後、女性会長の古森恵子様からご挨拶と事務掛さんから注意事項の説明が有り、丸太町橋までの清掃作業に出発です。今回の参加者は80名との事で、やや少ない様です。3連休の中日の為かもしれません。企業のOBと思われる人が多く、若い大学生と思われるグループも参加していました。堀場OB会メンバーは、左岸を北上しました。鴨川クリーンハイクが始まった当初は、バイクや自転車などの大型ゴミが棄てられていたとの事ですが、今はずいぶんきれいになっています。それでもちょっと見にはきれいな川原ですが、タバコの吸殻がたくさん落ちています。税金を負担してもらっているのはあ

りがたいのですが、愛煙家にはマイ灰皿の携帯をして戴きたいものです。

次に多いのは、コンビニ弁当関係のゴミやビニール袋とお菓子の包み紙やガムなど、時に酒ビンなども在りました。変わったところでは、警察共済組合組合員証を拾得しました。

丸太町橋に到着する頃にはちょうどゴミ袋も一杯になり、持ち手が伸びてこれ以上入れられない状態になりました。

12時前に終わった2時間弱の軽作業でしたが、真夏日になった前日に引き続いての好天に心地良い汗を流しました。



鴨川を美しくする会主催

—第2回「鴨川クリーンハイク」に参加—

6月3日（日）、恒例の鴨川を美しくする会主催の今年2回目の鴨川定例クリーンハイクが団体、個人の参加により開催されました。

堀場製作所OB会からは中村正博さん、森山晶成さんと山本の3名が参加しました。清掃区間は五条大橋から丸太町橋間、約2.5kmの河川敷のゴミ拾いをハイキング気分で行い、さわやかな汗をかきました。

河川敷にはウォーキング、散歩で多くの市民が利用されているが、目立ったゴミは意外と少なく市民の意識も高まってきた感じがします。

鴨川クリーンハイクの目的は単なるゴミ拾いではなく、この活動を鴨川を利用される市民に

感じてもらい、ゴミを捨ててはいけないという意識を高めてもらう活動でもあります。堀場OB会は今後も継続してこの活動に参加していきます。会員の皆様も気軽に参加いただくようお願いいたします。



キャリア活動

KSVU活動状況

平成24年度の活動は5月22日の平成23年度総会から始まりました。そこで堀場製作所OB会の小谷副代表がKSVU副理事長に就任されることが正式に決定されました。今後のご活躍に期待しております。また、新規加入クラブとしてワコールOB会も参加されることが決定されました。長年の課題である新規加入クラブの促進が前進したものと評価されます。

今年度の活動の一つとして、上賀茂神社の水力発電機設置に向けてKSVUも貢献されることが報告され、省エネに対応した創エネ活動の一つとして注目されます。

昨年に引き続き東北大震災後の震災復興都市間連携販路開拓等支援事業の京都市のコーディネーターとしてKSVUが対応することが報告され、各OB会と元企業への協力を要請されました。

また、今年度も企業見学会や、講演会を行うことも示され、第1弾として、10月14日（鉄道

記念日）の京都市地下鉄の醍醐車庫の見学が予定されています。

今後のKSVU活動を盛り上げる為には登録者の人数を増やし、各行事や、イベントへの参加者を増やすことが望まれています。

堀場製作所OB会でも、KSVUの活動にご理解をいただき、キャリア部会に登録の上、積極的に諸活動に参加いただきますよう宜しくお願い致します。（酒井 俊英）

※ KSVUの活動、堀場OB会キャリア部会の詳細につきましては、先日、お届けしました「OB会設立15周年記念誌」に記載されています。

キャリア部会活動の詳細、キャリア部会登録については下記の担当にお問合せ下さい。

◆ 担当幹事 船越 健

E.mail : funakosh@astem.or.jp

Tel 090-3038-8265

京都モノづくり殿堂・モノづくり工房学習について

今年度のキャリア部会活動としての京都生きた方探求館での京モノレンジャーの活動について報告をします。

「世界に一つの温度計」と題して行っています、プレミアムバージョンの温度計工作授業は、今年度8月末現在、5月25日（金）と6月19日（火）の2回行いました。

2回とも生徒の数が59人、48人と多く、2回に分けての学習となりました。堀場OB会の京モノレンジャー、8人もの多くの方々に支えられて、順調に進められるようになってきました。特に6月19日は定番だったスピーカーの酒井に代わって、森山さんがデビュー。新たにスピーカーの要員を増やす事ができました。また、6月19日は、大雨警報が出そうな大雨で、開催が危ぶまれた事も有って、堀場OB以外の京モノレンジャーもアシスタントとして参加して貰いまし

た。

プレミアムバージョンの温度計は、一先ず、一区切りとして今回が、最後の機会となりました。今年度中に、後8回の開催が予定されていますが、次回からは廉価版の温度計工作に切り替える予定です。

今後共、皆様の一層の御支援、御協力をお願い致します。



行事報告

春の懇親会

平成24年2月4日（土）正午からお馴染みの「がんこ高瀬川二条苑」にて、会社から山下副本部長の出席を得て、36人参加のもと、今年のトップ行事として春の懇親会が開催されました。今回懇親会として初めての参加者は、青海隆さん、東京支部から懐かしい村木泰雄さんが参加されました。また初めてではありませんが、田中利典さんの車椅子での参加も定着されました。

現下、世界的な不況の煽りを受けて、一流大企業群が軒並み数千億円もの赤字決算になろうという報道がなされている中で、我が堀場製作所は、早くからのグローバル化体制とオールホリバリアンの努力のおかげで、最終決算は黒字の見込みとのお話を聞き、大変うれしいニュー

スとして懇親会も一層の盛り上がりを見せました。

また、冒頭お馴染みと表現しましたが、懇親会の会場として、勿論「がんこ」さんに不満はありませんが、少し目先を変え、同じような負担で他に相応しいところを提案して頂ければと、OB会石黒幹事から出席者全員にアンケートが配布されました。これについては、後日結果を待つことになりました。

次回は、8月に夏の夕べの懇親会が予定されています。

・お詫び：カメラのトラブルで集合写真がモノクロになりました。



夏の懇親会

8月18日（土曜日）恒例の堀場製作所OB会夏期懇親会が、がんこ高瀬川二条苑で開催されました。当日の京都は、大雨と落雷の影響で交通機関も大幅に遅れましたが、42名の大勢の参加を頂きました。はじめに堀場製作所管理本部の山下副本部長から、最近の堀場製作所の状況報告を含めご挨拶頂き、次に堀場製作所OB会代表幹事の川越さんからOB会の近況報告を交え挨拶されました。懇親会は、船越さんの上手な司会

進行の元、終始話し声が絶えず、昔話にも花が咲き、最初から最後まで和気藹々な雰囲気の中、閉会となりました。最後に酒井さんから、11月2日（金）の「年次総会」への多数の参加をお願いし一本締めでお開きとなりました。

尚、山本副代表幹事から堀場創立60周年記念のコメントをOB会も投稿協力するため説明とともに資料が配布されました。



レジャー例会

ーびわ湖一周桜めぐりー

4月10日（火）、桜の季節に合わせ「琵琶湖一周桜めぐり：海津大崎～奥琵琶～豊公園～彦根城～多賀大社～三井寺ライトアップ」レジャー例会を、旅行会社（クラブツーリズム）のバスツアーを利用して11名の参加により開催しました。

今年は異常気象により桜の開花が遅れ、例年であれば満開状態を期待できたが、残念ながら期待が外れ、奥琵琶湖方面は、つぼみの状態で豊公園（長浜）では梅が満開で梅園の下で宴会を開いているグループが多く見受けられました。

彦根城は開花～3分咲きでしたが、多くの観光客で賑わい、彦根のキャラクター「ひこにゃん」の顔見世で観光客は歓声に沸いていました。



ツアー最後の三井寺では、多くの観光客で賑わい、ライトアップにより幻想的な雰囲気を楽しむ事ができました。

残念ながら満開には程遠いツアーでしたが、皆さんとのコミュニケーションが図れ楽しいレジャー例会でした。参加いただいた皆様、早朝より夜遅くまで長時間のバスに揺られさぞかしお疲れになったと思います。

ー妙心寺散策ー

台風5号崩れの低気圧の影響で、明け方まで強い雨が降り、予報も完全に雨。しかし、日ごろの行いのお蔭でしょうか？さわやかなハイキング日和になりました6月22日（金）にこのときでなければ見られない妙心寺の東林院へ夏椿（沙羅双樹）の花を見に行きました。珍しく19名と多数の参加となり、この例会への関心が高かったことに御礼を申し上げます。

やはり多数の参加となると色々とお話をする機会が増え、久しぶりにお会いする方々とお話ができ、花を見る以外にも楽しく過ご



しました。

妙心寺に到着後、まず東林院でお抹茶を戴いた後、若いお坊さんの解説が始まりました。そ

ここで、いきなり小生のお株を奪うように「さら(沙羅)つと説明します」と。夏椿の花は朝に咲き夕暮れには散りゆく一日花が人の世の常ならぬことを象徴している。たった一日しか咲かないと嘆くのではなく、一日だけのだけの生命を精一杯咲きつくしている。人間の生命にはいつか限りがありますが、一日一日を大切に悔いなき人生を送ることの大切さを教えて戴きました。

その後、すがすがしい境内の散策をしてから。妙心寺花園会館の京料理の花ごころで竹籠

弁当の昼食を頂きました。京料理特有の品数の多さと、その量の少なさに……。胃の小さくなった年配者にはおあつらえ向きかも。

午後は、つり天井に狩野探幽の描いた雲龍の図で有名な法堂や明智風呂（浴室）をガイド付きで案内してもらった後大方丈を見学して解散となりました。

ご参加いただきました皆様、お疲れ様でした。

一 三朝温泉・倉吉、一泊旅行 一

2012年2月24日（金）・25日（土）1行26人は、湯快倶楽部のプランを使って、ゆったりとした癒しと味覚を求めて、鳥取県の三朝温泉へのバスの旅に発ちました。宿泊は明治10年の創業という三朝温泉の名門旅館「芥木別館」に2時過ぎに到着、夕食までの十分な自由時間を早速旅館の温泉を楽しむ者や、まず観光と、まだ厚い積雪の中、三徳川の両岸に旅館が立ち並ぶ温泉街、三朝橋のたもとにある河原風呂等、情緒ある温泉街を散策する者等それぞれゆっくりと楽しみました。尚、三朝温泉は1163年に発見さ

れた歴史的な温泉で、源頼朝の家臣、大久保左馬之祐（さまのすけ）が源氏の再興を祈願し、三徳山三仏寺に赴いた折に命を救った白狼が夢枕に立ち、楠の老木から湯が湧き出ていることを教えた湯が元湯の「株湯」と言われています。その「株湯」まで行った人もありました。

夕食は、100人は悠に入れると思われる大広間にて、山陰ならではのカニ一杯付の海の幸、山の幸を堪能し、またそれぞれに懇親を深めました。

翌土曜日は、旅館のマイクロバスを利用して、歴史的にも城下町として栄えた倉吉市打吹



(うつぶき) 地区に行きました。ここは白壁土蔵の町とよばれ、古い蔵を改装して、「赤壁」九つ蔵巡りと称して、楽しいこだわりの店や工房、喫茶店等になっており、お土産や創作体験等を楽しみました。倉吉の豊かな自然の中で、歴史の遺物や町の風景をゆっくり味わうことが出来、すっかり癒された次第です。

今回の一泊旅行は、バスで片道5時間もかかる

遠距離の旅でしたが、名門旅館の圧倒的な「ゆとり」がすっかり旅の疲れを忘れさせてくれ、また皆さんの協力で安全裏に楽しく旅が出来ました。しかしまだまだ参加者が少ないので、今回参加された方々は、この楽しさとお得さを他の会員に体験談を広めて頂きます様お願いします。

東京支部

— 一泊懇親会 —

2012年6月1日(金)2日(土)東京支部は、一泊懇親会を開催した。場所は埼玉県寄居町。初日は草鹿氏、谷口氏、横井氏、新井氏に非会員でゴルフのみ特別参加を頂いた北村氏、下坂氏と2組で80メートル打ち下ろしの1番ホールよりスタートする、長瀬カントリークラブでゴルフ。辻川氏、土屋氏、玉置氏、大道寺氏、海野が「かんぼの宿 寄居」で合流。計9名で温泉に入浴後、夕食は鮑の酒蒸し・霜降り牛肉のしゃぶしゃぶ等ちょっと贅沢なコース料理でとてもおいしく頂いた。もっと飲みたい人が幹事部屋に集まり夜遅くまで懇親を深めた。

高台にあり見晴しのとても良いかんぼの宿を後に翌日は近くの石畳みで有名な所より出船する長瀬ライン下りで自然のさわやかな空気を全身に浴びながら、船頭の見事な竿裁きと長瀬の言われ、魚の種類の高さ、象岩、カエル岩等おしゃべりを楽しみ、さらに川越に

移動。そば屋で昼食後、今度は小江戸川越で「重要伝統的建造物群保存地区」に指定され、最近人気スポットの30数棟の蔵造りの町並みと時の鐘を散策、お土産のお菓子を買った。車で参加の草鹿氏、新井氏の車に川越駅まで乗せて頂き、解散となった。

最近関東は雷雨が発生するなど天候が不安定で、初日はホテルチェックイン直後雷と夕立が降ったものの、翌日は時折日が差す観光日和。一度も傘を差すこともなく年一度の懇親会を各自思い思いに楽しみました。



会員寄稿文

山手線ぐるっと一周一人旅……海野 興一郎

東京は広すぎてほとんど知らない。せめて山手線沿線は知ろうと、山手線一周一人ウォーキングをやってみた。駅の数29駅、大通り沿い

に行く約38kmとなる。

時は4月29日。上野駅を7時20分高架線路沿いにスタート。まずアメ横が有名で宝石店が立ち

並ぶ御徒町、堀場東京支店があり、最近IT産業ビルで再開発され、AKB48の本拠地で、若者で賑わう電気街の秋葉原を過ぎ、チケット屋が乱立する神田駅東口前の中央通りを日本橋に向けて歩く。日本橋近くになると、大手企業、金融機関の本社・本店ビルが軒を連ねる。表玄関の柱がやたらに太い。

三越日本橋本店を過ぎ日本橋を渡る。ここ日本橋は主要道路網の起点。その数7国道。1号：大阪，4号：青森，6号：仙台，14号：千葉，15号：横浜，17号：新潟，20号：塩尻へ主要都市に繋がっている。日本橋は広重の東海道五十三次で有名であるが、現在の橋は1911年に架けられた石造りの二連アーチ橋である。それにしても東京オリンピックの時に出来た真上の首都高が邪魔だ。

さらに行くくと右手に東京駅八重洲口が見える。ここまで来ると銀座通りとなる。ふと右側の重厚なビル、服部時計店ビルだ。1960年代大晦日の夜、ダークダックスが屋上の時計台で



「蛍の光」を歌い終わると、丁度1月1日午前0時。年明けを見届けて寝た記憶が蘇ってきた。

ここが銀座四丁目。右手向うが有楽町駅。気品ある店構えの一流店が立ち並ぶ、さすが銀座と言ったところ。このスニーカーでは入りにくい店ばかり。さらに行くくと新橋、ここは営業マンの街。飲み屋の多いこと。九階全館飲み屋のビルが乱立。それぞれ成り立つのだから、いかに営業マンが多いか。ここまでくると第一京浜となる。浜松町、田町を越え、品川駅にくる。こ

こはプリンス王国。品川プリンス、グランドプリンス高輪、グランドプリンス新高輪と巨大ホテルが立ち並ぶ。国土計画のオーナーであった堤義明の栄華の跡か。その先、山手線はUの字に曲がるため、京急：新馬場駅から右折、大崎に向う。五反田、目黒を抜け、ビールの発祥地：恵比寿駅を過ぎ右折、明治通りとの交差点で左折、明治通りを池袋へ真進。途中、渋谷は15～18才の若者の街、明治神宮のある原宿は12～18才の女性ファッション品店の多い街。特に竹下通りは大変な賑わい。その通りを横目に代々木を過ぎ行くと新宿。ここは、学生からサラリーマンまでの大人の街、歌舞伎町がある歓楽街。夜の眠りを知らない街だ。道沿いの吉野屋で少し早い昼食後、新大久保、高田馬場を超えると目白。ここは学習院があるだけに、有名私立幼稚園・



小学校への「お受験」のためのカルチャーセンターまである裕福で教育熱心な街。間もなく行くと池袋駅。ここ池袋はがらっと変わって庶民的な街、特に学生に人気の街だ。

駅前を過ぎ六又陸橋交差点を右折、春日通りを小石川方面へ。向原交差点で唯一残る都電荒川線沿いに大塚駅に来る。ここからは線路沿いに昭和の街：巣鴨、駒込、田端を過ぎ、西日暮里駅横の急な坂を登り、日暮里駅西口から駅ビルを横断、線路沿いに鶯谷を過ぎ、上野駅に着いた。時刻は14時15分。昼食時間を除き約6時間40分のウォーキングだった。

歩き目線で見ると山手線沿線は、駅毎に色が違

う、風が違う、香りが違う、行き交う人が違う。それぞれの街がそれぞれの色に特化し、数珠の様に繋がり、ドーナツの様に隙間なく肥大化した大都市東京。日々移り変わる日本の進化

をそのまま反映している大都市東京。この東京が変化脈動している大都会であることを再認識した「山手線ぐるっと一周一人旅」であった。

SPLレコードの思い出……周田 光男

昭和30年代の初め、強烈な印象を受けたSPレコードがある。

それは、ジョージア・ギブスの『Kiss Of Fire』（火の接吻）だった。当時、営業業務の西村さんが届けてくれた、ジャズボーカルの中の1枚である。

そして、当時常務取締役だった（故）上田さ



んが、秋葉原で購入された真空管アンプと白いコーンがまぶしい「ハーク社」の8インチのフルレンジスピーカーがあった。更に、驚いたのは「ガード社」のSP盤オートチェンジャーもあったことである。ただ、スピーカーBOXがないため、千代松さんが許可(?)を得て、古い製図板をくり抜いて加工してくれた。目にするすべての機器が私には初めてで、その迫力は、今でも忘れることはない。

当時の社長（現堀場最高顧問）は、音楽には大変理解があり何事にも寛大だったのだろうか。無遅刻・無欠勤での社員褒賞は「選べるLP盤」を副賞として頂いたのだった。

その頃は簡単に買えるものではなかったのので、私も副賞を狙ったがダメだった。稲村さんや萩原さんなど、受賞されたのを覚えていま

す。

その頃、NHKでは2局を使った立体放送の開始や、FM放送の認可 45/45/のステレオLP/EP・オープンリールR・オーディオカセットR・CD・MD・HD……と、大変身していく事になる。今や、数千曲の音楽が「カード」1枚に収まる世の中で、皆さんはどんな音楽を聴いているのだろうか。

新曲が次々とあふれ出ながら、覚える間もなく消えていくものが数多くある。特に、私たちの年代の者には、ついていけないのが現状です。



しかし、子供の頃に何となく覚えた戦前・戦後の流行歌などは、その殆どを今でも口ずさむことが出来るのは何故だろうか。当時は情報量が少なく、ほかに楽しみがなかったからだろうか。そんな時代の私たちが高齢者となった今、ただの懐かしさだけが残っているのだろうか。

私は現在、社会福祉協議会の末席として、老人福祉施設で毎週一回、筋トレや指の体操、脳トレなど、認知症予防を目的とした企画に参加していますが、そんな中、SPレコードの収集家3人と知り合った。そして、複数の老人福祉施設

に機材を持ち込み、昔懐かし流行歌やセミクラシック盤などで慰問して3年目になる。

施設のお年寄りも元気に歌われ、今ではリクエストもいただくようになった。曲の間に少しずつ指の体操などを入れるなど、施設利用者さんの体調も考えている。

音楽が認知症予防にも効果があると、施設長さんからも期待され、不定期ではあるが途切れずに続けている。これからもSPレコードがもつ、温かさや、深みのある音を伝えたい。また、SPレコード鑑賞会にも参加しているが、ある日、会場で私の近くに座っている元ホリバリアンがいた。“何故ここにいるの？・・・”二人が目を合わせて驚いた。元開発部の平田さんだった。勿論、平田さんと3人の収集家は知り合いだったが知らぬは私だけ。

平田さんの肩書は「日本フルトヴェングラー協会」の関西支部長で。私たちとの関係を仲間全員が驚いていた。

お蔭で、平田さんの肩書も利用させていただ

き、企画がスムーズに運び、音楽演奏会や飲み会にも参加してくれて楽しく過ごしている。

さらに、もう一つ驚きの発見があった。50年以上も前に堀場pHメーターに使われていた12AU7が「アナログ真空管アンプ」に使用されていたのだ。マニアは当たり前だが、私は驚いた。演奏中の微かなヒラメントの光を眺めると、数%しか確保できない「初段管」としての選別で、数量の確保に振り回された苦い思い出や、萩原さん等の“シリコンワニス処理技法”が、高絶縁型12AU7となり、「U198」と名付けられ、「pHの堀場」を支えてきた思いが胸を熱くする。何だか不思議な縁を感じている。これからも、この12AU7が良い音を出してくれるだろう。

私たち高齢者は、健康に注意して「一番若い今日」を大切に生き抜こうと思っている。

また、この歳になると足腰が急速に衰えてくるため「動かさなければ、動かなくなる」を合言葉に、ゆっくりと進みたいと思います。

上手な褒め方・叱り方……梶並 強平

私の子供の頃、褒めて貰った事は殆ど無い。しかし、叱られた事だけは、今でもしっかり覚えている。

今でも、嫁さんから褒められた事は全く無い。実は、今我が家では、嫁さんから痛烈な言葉で毎日叱られどうしである。

そこでOB会報用の原稿「上手な褒め方・叱り方」を書き、この原稿を嫁さんの目に着きやすい所にそれとなく置いたので、きっと見てくれるはずである。その効果はまだ無いが、以下の通りである。

「人は誰でも褒められたい願望を持っており、極小さな事でも人から褒められると、誰でも嬉しい気持ちになれるものです。

意識的にも人を褒める様になると、お互いの人間関係が円滑になるだけでなく、脳の細胞の中

にドーパミンが放出されて来るので、脳の細胞を活性化させ、やる気等が出て来るとも言われている。

相手を褒める時は、その人のあらゆる行動、表現等をよく観察して、良い部分を見つけ出し、優れている所や、以前より、良いほうに変わってきている所があれば、それを詳しくとらえる必要があります。

褒める時、どの様な事を、どんな言葉を使って、何が良かったのかを一工夫した言葉で、具体的な表現で、さりげなく褒めてあげることも必要です。

単に抽象的な表現で褒めると、相手にお世辞とも受け止められ、逆効果にも成りかねません。

誰でも、褒められて相手の嬉しそうな様子を

見ると、褒めた人も又嬉しくなって来ます。いいなと思ったら、つかさず言葉に出して、どんどん褒めてあげましょう。

一方、叱り方については、褒める以上に大変難しい点があります。

叱り方によっては、相手を傷つけたり、逆効果になったりすることがあります。

相手が良くない行動を取った時等、タイミングよく（時間がたつと効果が半減）何が悪かったのか、それをどう改善すべきかを、正確に伝える事も大切です。

叱りつつも、”これからも期待をしているからね”と前向きな言葉をかけ、決して相手の人

格は否定しない様に注意しましょう。

相手を注意する時は、自分自身は決して感情的にならず、冷静になって、言うべきことを整理して伝える事も大切です。

くどくど、同じ事を繰り返し、又過去の事柄等まで持ち出し、ひつこく叱らない様にしましょう。

人前で叱ると、相手のプライドを傷つけ、逆効果になる事もあるので、出来るだけ二人きりの時に、注意する事も大切と思います。

注意した後、改善が少しでも見られたら、それを具体的な表現で褒めてあげると、さらに効果が出て、人は成長して行くものです。

会員への連絡

－OB会設立15周年記念誌作成プロジェクトについて－

9月初めにお届けしました記念誌は、既にご覧頂いたことと存じます。内容はOB会設立15周年の足跡を出来るだけビジュアルに残そうと、年次にOB会員で作成プロジェクト体制を組み、既会報・ホームページなど保存資料と設立時にかかわった現会員のお話し等を集集し、やっと取り纏めることが出来ました。本来もっと早く発行するところ以外に時間がかかりましたことは残念でしたが、ご覧いただいた皆様の感想等を

会報への寄稿の形でお寄せいただければ望外の幸せです。

尚、故市岡達郎様のお名前の「郎」が抜けておりました。お詫びいたします。

最後にプロジェクト委員の方々の努力に感謝したいと思います。

石黒 英憲、川越 幹、酒井 俊英、田中 光子、谷口 義晴、萩原 孝一、船越 健、濱田 芳彰、森山 昌成、山本 広太郎、湯浅 一郎

－新入会員紹介－

平成23年10月以降に入会された会員を紹介します。(敬称略)

- ・1606 青海 隆さん
- ・1607 清水 安孝さん
- ・1608 宇野 久二男さん
- ・1609 三橋 泰夫さん
- ・1610 小川 柁幸さん

－訃報－

下記の会員が亡くなりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

●平成24年7月8日 山村 眞平様

－堀場OB会ホームページ紹介－

堀場OB会のホームページではクラブ活動をはじめ各種の行事案内、報告を掲載しています。

閲覧件数も20,000件を超え多くの会員の皆様に見ていただいていると思います。

魅力あるホームページにするために会員の皆様か

らご意見、ご提案をお寄せ下さい。

◆ホームページアドレス

<http://www.h5.dion.ne.jp/~ob-hor/>

◆堀場OB会メールアドレス

horiba.ob@gmail.com

会員の皆様にお届けしている会報は、モノクロ版ですが、ホームページにはカラー版の会報を掲載していますのでご覧下さい。

ホームページの会報閲覧は会員以外の方が閲覧出来ないようにパスワードで保護しています。

閲覧は、トップページの「会報」ボタンをクリックするとパスワード入力画面が表示されますので、下記のパスワードを入力していただくと会報の画面に変わります。

◆会報閲覧パスワード **horibaob**

－ 会報・ホームページへの寄稿要領について －

会報への寄稿文、ホームページへのクラブ活動、ボランティア活動等の諸活動報告は次の基準により作成をお願いします。

◆会報へ寄稿文

1500文字以内、写真を1枚～2枚添付して下さい。

◆ホームページへの活動報告

800文字以内、活動状況の判る写真を1～2枚

添付して下さい。

会報、ホームページ共に文字だけでは読者に伝える力が弱く、写真によって情景を読者に印象付けるものであり、必ず写真を添付お願い致します。

活動報告は行事終了後、早めに報告いただくようお願いします。

ホリバ・ニュース・やぶにらみアラカルト

・HOR創立60周年キックオフ

2013年1月26日に堀場製作所が創立60周年を迎えます。60年というと還暦に当たり、先輩たちから受け継いだおもいを未来へ、世界へつなげていきたいとのことから「TASUKI」というテーマでプロジェクト活動がキックオフされました。

世界のホリバリアンが参加するワーキンググループから現在ネット上のプロジェクトアイコンにおもいの数々が集まっています。OB会員にも在職中のエピソード等の投稿依頼があり協力することになりました。

・京都水族館で導電率計HE-200が活躍

今年の3月にオープンした京都水族館は、京都駅に近い梅小路にあり、こんな所に水族館とは、どうして海水を持ってくるのでしょうか、京都水族館では、人口海水製造システムと節水型濾過システムを使用し、

100%人口海水を実現しています。

そのため海水の輸送費が削減され、また基本が不純物の無い水道水のため水の入れ替えが極小になっています。

この人口海水製造過程でHORIBAの電気伝導率計HE-200Hが最適な水質管理のために貢献しています。尚、同機は海水濃度が直接%で表示される分かり易さが、例えば温泉等様々な用途に使われています。

・堀場最高顧問 新刊発売「おもしろおかしく生きる！」

最高顧問の著書も1995年「イヤならやめろ」以来、アマゾンで調べるともう40冊もの著書が出ています。私たちOB会員は、年次総会にて、直接著者からお話をお聞きしているので、そのエッセンスのほとんどの内容が推測できるかと思えます。

私たち今は、否応なしに在職という意味で

はやめている立場ですが、今後命あり限り100%の力を出し続けて、おもしろおかしく生きてゆくため、自分に喝を入れるためにも是

非一読の程を。購入はHOCOMに申し込みください。(075-312-9938)

編集後記

去年は、堀場OB会設立15周年式典を挙行了しました。そしてこの機会に過去の活動を記念誌の形で残しておこうと、前述の記念誌作成プロジェクトを立ち上げ編集に取りかかりました。

しかし初めての経験でもあって、予想外に時間がかかり、その影響で本会報の発行が約2ヶ月遅れたことについて深くお詫びいたします。

会報の内容もボランティアや社会貢献へと比重が高まっています。多くの皆さんに参加して頂くためにも、より情報の速報性が必要なことが増えてきています。そのため会報への掲載よ

りもホームページ報告の方が相応しいメディアとなっています。今後両者の役割分担を整理して、会報は、皆様からのお考えや面白い話題等の寄稿文、写真等が主体としてゆきたいと存じます。

今号の寄稿文は3件ですが、次回は、設立15周年を経て、新しくスタートする次なるOB会でもあり、また今やOB会員も170人を超えていますので、毎号少なくとも10件くらいの記事を掲載いたたく皆様のご協力をお願いします。

(編集部)

* 堀場製作所OB会 *
* 〒601-8510 *
* 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 *
* 株式会社 堀場製作所内 OB会室 *
* URL <http://wwwh5.dion.ne.jp/~ob-hor> *
